

島の恵でつながる笑顔のふるさとづくり (平成22年度認定)



小浜島は石垣島から高速船で約25分の距離にあり、八重山諸島のちょうど真ん中に位置している。島の基幹産業は農業でサトウキビの栽培が盛んであるが、細崎地区は小浜島の中でも海人が多く、昔から漁業を中心とする特徴的な地区である。

観光客が増えるなか以前は特産品がなかったため、細崎さわやか生活改善グループの会員である海人の奥さん達がグループの中に「もずく加工部」を設立し、小浜島の天然もずくを小浜島の特産品としてブランド化する活動が開始された。補助事業により機械設備等を導入して、従来一斗缶であったもずくを袋詰めしたり、県産塩を使用してパッケージデザインにもこだわるなど、ひとつひとつ手作業で付加価値をつけることでブランド化を図った。その結果販売額が伸び、小浜島産天然もずくの認知度を高め、小浜島の特産品として定着するに至った。

平成17年には小浜島離島ターミナル内に販売所『くば屋あ』を設立するまでになり、地域の生産・販売活動を通し、小浜島と八重山をPRすることで、【島の恵でつながる笑顔のふるさとづくり】に取り組んでいる。

